

## 令和 4 年 第 4 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	三 澤 公 雄	<p>1. お風呂の無い“町営住宅”のこれから</p> <p>2. “性”について幅広く学ぶ必要があるのに、「できていない」現状をどうするか？</p>	<p>現在も“お風呂の無い町営住宅”は100軒近く有り、その需要も根強いものがある。しかし、入居後に自己負担で設置した“風呂等”は、退去時に撤去する・・・ということになっていて、退去者の負担も大きいし、なにより「もったいない！」と強く思ってしまう。そこで、改善策を提示する。</p> <p>退去時のチェックで、退去後の新しい入居者でも十分に使用に耐えられる「設備」であるならば、「格安」ではあるが、町で買い取りという形にしたらどうだろうか？</p> <p>どんなに新しい高価なモノであっても、“風呂等”は、一度使用されたなら“市場価格”は5千円から数万円らしい。町の負担は小さい。</p> <p>しかし、その後は“風呂無し町営住宅”が“風呂有り町営住宅”という物件になる訳だから、需要はさらに高まるだろう。尚且つ、この制度が認知されたなら、風呂等を新しく設置した入居者も退去時の負担を避けるために「大事に」・「キレイに」使用されることになろう・・・投資額の小さい施設更新になるのでは？</p> <p>このようなルール改正は、できないものだろうか。</p> <p>これまで二度に渡り“性教育の充実”を訴えてきた。前向きな答弁をいただいていたが、ここまでの教育現場を調べても、あまり変化がないように感じている。これは教育現場のスケジュールがタイトで、改善を考える余裕がないからだと思うので、支援策を含めて、来年度のスケジュールが固まる前に再々度、性教育を充実させる大事さを訴えたい。</p> <p>(1) 来年度から「生命の安全教育」が本格的に導入されます。子どもが継続的に、系統的に学ぶためには有意義だと教育長も認めていらっしゃると思いますが、現場ではなかなか実践できていないのは、どうしてだと思いますか。</p> <p>(2) (私の世代も含め) 親の世代も単発授業で「性教育らしいモノ」を受けただけなので、「家庭での性教育」には、かなりの世帯差があると思われる。「悩む保護者」に講座を用意したらどうだろう・・・教育現場への側方支援になると思うが、どうだろうか。</p> <p>(3) これまで取り組めていないモノに取り組むわけだから、時間も人も取られるこ</p>	<p>町 長</p> <p>町 教 育 長</p>

			<p>ととなるので、これまで以上に現場を助ける手立てが必要だと思う。そのため、教育現場全体を見渡した上での支援が必要と考える。例えば、教員の業務負担の軽減策として、『外部人材の活用』をしてはどうだろうか。教材づくりや資料作成には“その道”に長けた人材を活用する。そのための予算をしっかりと付ける！！</p> <p>教員に余裕を持ってもらい、その“余裕”を“性教育の充実”などの「必要なのに取り組めていない」分野に注力できる体制を作るべきではないだろうか。</p>	
--	--	--	---	--

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	大久保建一	1. DX推進を早急に始めよう	<p>新型コロナウイルス対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど、様々な課題が明らかとなったことから、こうしたデジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が求められている。</p> <p>こうした認識において、国では目指すべきデジタル社会に向けた基本方針や関連法を既に示してきている。八雲町においては、自治体業務におけるDX推進の進捗状況は、どのようなになっているのか伺う。</p>	町長
		2. 八雲町には、物産の発信基地と観光拠点として道の駅は必要	<p>ご存知、道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設であり、北海道には127駅、全国では1,198駅と、平成に入ってからできた制度が今や、観光客やその地域の住民、地域の物産販売にとっても必要不可欠なものになっている。</p> <p>また、近年では、防災拠点となるもの、子育て応援施設の併設されたもの等、様々な形の道の駅が誕生している。</p> <p>八雲町は、道南の大動脈である国道5号線と日本海側をつなぐ国道277号線の交わる交通の要衝でありながら、道の駅がないのはとてももったいない話である。</p> <p>是非、「道の駅・やくも」の設置に向け検討を始めるべきと考えるが、考えを伺う。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	倉地清子	1. 不登校児童生徒の支援について	<p>令和4年10月27日に公表した文部科学省の調査によると、令和3年度の義務教育課程の不登校児童生徒は、前年度より4万8,813人増加し、24万4,940人となっている。八雲町においても不登校児童生徒の数は、少ないとは言えない状況と思われる。不登校の理由はそれぞれ、「友人関係」「勉強がわからない」「先生との関係」など、学校生活を巡る問題が不登校のきっかけとなった子どもたちが多い一方で、「不安感」「生活の乱れ」「家庭の状況」などを挙げる子どももいることから、不登校の理由が複雑化している。</p> <p>傾向としては、不安など情緒的混乱で「学校に行きたくても行けないタイプ」、人間関係がうまく築けない「人間関係によるタイプ」が多くなっている。また、不登校の子どもの中に発達障害がある児童が増えてきているという指摘もある。</p> <p>特性のある子どもに対する理解は、社会全体として進みつつあるものの、一般的な小学校や中学校では、適切な指導や支援がまだまだ不十分なこともあり、そのため、それぞれが抱える課題を克服できず、友達関係がうまく築けなかったり、勉強についていけなくなったりなどの問題が生じ、不登校になってしまうケースが増えている。</p> <p>このように、不登校の子ども達には様々な背景があるため、保護者も含め、支援も個々に合わせた内容であり、学校復帰に限らないそれぞれにあったサポートの在り方が求められているが、八雲町は、児童生徒の心のサインに気づき未然に防ぐことも含め、不登校児童生徒や保護者への支援について、どのように取り組んでいるのか伺います。</p> <p>(1) 登校を渋るようになってきている児童生徒、様子に変調が見受けられるような児童生徒には、どのような対応をしているか。</p> <p>(2) 登校できなくなってしまった児童生徒、保護者との関わりは、どのようにしているか。</p> <p>(3) 不登校の理由は様々で、一人ひとり様々な対応が必要だが、個々の支援に対し、十分な対策はなされているか。</p>	教育長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	佐藤智子	1. 高校前通学路に歩道を	<p>文教厚生常任委員会で実施したアンケートによると『子育てしにくさの項目』第1位は、歩道のない通学路だった。</p> <p>私が特に気になっているのは、役場付近のセブンイレブンから高校までの町道である。</p> <p>私が町議なりたての頃、その道路脇にお住いのご婦人が「何とか歩道を造ってもらいたくて、高橋はるみ知事に手紙を書いて出したのに、何も変わらない」とおっしゃっていたのを思い出す。その頃は道道だったが、東雲相生跨線橋ができると同時に町道に移行した。</p> <p>町道になれば自由度が高まるので、歩道を検討するという話もあった。しかし、その後も歩道設置の動きはない。『八雲町交通安全計画書（R3～7）』の第2章に基づいて、歩道設置を決めるべきではないか。</p>	町長
		2. 生理用品をトイレトペーパーのように	<p>生理用品は、毎月500円から800円ほど、年間にすると1万円前後の費用がかかる。公共施設すべてに、トイレトペーパー同様に設置してはどうかという考えもあるが、まずは、学校が率先して保健室ではなく、トイレの個室に設置することを求める。</p> <p>道議会でも取り上げられ、北海道教育委員会では、生理用品の公費設置に関し、調査・検討の項目としている。</p> <p>子ども達の安心と成長のために必要と思うが、八雲町としてはどう考えるか。</p>	教育長
		3. オストメイト対応トイレの促進を	<p>町内のオストメイト対応トイレの普及率はどうなっているか。</p> <p>様々な病気で人工肛門を余儀なくされた方が、公共施設を利用しやすくするために、必要な設備を整えていくべきではないか。考えを伺う。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
5	横田喜世志	1. 除雪について	<p>また雪の季節となってきました。雪によってご近所トラブルも増えてきます。町と町民間でもあるでしょう。</p> <p>道路の雪は、皆さん置いていってほしくないのが本音です。前シーズンは車一台分の道幅が随所に発生しました。空地や遊休地を、一時堆積地として増やせないか伺う。</p>	町長
		2. ハラスメントの相談について	<p>以前、ハラスメントの質疑があり、マニュアルはできているとのこと。マニュアルの配布・研修は、どのように行われたのか伺う。</p> <p>また、ハラスメントの相談窓口は総務課長ですが、役場内での相談は非常に話しづらいと思う。</p> <p>第三者機関を八雲町でも活用すべきだと思うが、見解を伺う。</p>	町長
		3. 二海サーモン養殖事業について	<p>11月15日から行われた二海サーモン種苗生産施設から海面養殖生簀への幼魚(種苗)移動作業を見学させていただきました。</p> <p>今回初めてのことで、いろいろ試行錯誤したと思います。</p> <p>今回行った種苗生産から海面養殖への移動作業に関して、反省点・改良点等があれば伺いたい。</p> <p>また、残った種苗は販売すると聞きましたが、数量と単価を伺いたい。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
6	赤井睦美	<p>1. ごみの減量化と活用を！</p> <p>2. 人口減少に向けて、情報共有・課題共有を！</p>	<p>令和2年に同じテーマで一般質問をさせていただきました。その後の進捗状況も含め、以下の4点についてお伺いします。</p> <p>① 生ごみの分別はどの程度進み、町民の間に分別の重要性がどの程度認識されてきたのでしょうか。そして、今後の取り組みについて教えてください。</p> <p>② ごみの減量化については、子ども達にも十分意識することで、実践してもらえると思います。以前の質問で、子ども達も巻き込んで取り組むとの答えをいただきましたが、その後の取り組み状況を教えてください。</p> <p>③ 乳児用・介護用の紙おむつのごみが、今後さらに問題になるということで、富良野市に視察に行き、今後研究するとの答弁をいただきましたが、その後の研究成果と取り組みをお伺いします。</p> <p>④ 今やプラスチックごみは世界的な課題で、2050年には魚の量より、プラスチックごみの量が上回る海になると言われています。日本でただ一つ、日本海と太平洋の二つの海を持つ八雲町として、今後どのような対策をお考えでしょうか。</p> <p>日本全体が、今まで経験したことのない少子化・人口減少に向かって突き進んでいます。八雲町も毎月の人口が減少していることは分かりますが、それによって10年後、20年後は、どのような状況になっているのでしょうか。今とは違った課題が出てくると思いますが、是非、小中高生を含めた町民と共に、以下に記すような事項を情報共有・課題共有しながら、少しでも改善できるように、10年後、20年後、そして未来のまちづくりについて、話し合いの場をつくっていきませんか。人口減少により、みんなで知恵と力を合わせなければ、元気な八雲町を維持できないと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p> <p>(10年後、20年後の人口の割合・産業の状況・税収入や扶助費などに関して・子育ても含む子どもを取り巻く状況・学校や教育の状況・高齢者と介護を取り巻く状況・病院や行政の体制等々)</p>	町長